

# 全教事務職員部ニュース

発行:全日本教職員組合事務職員部  
〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-1  
全国教育文化会館 3F

2024年7月5日  
No.57

TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124



## 定期総会終了！～ご協力ありがとうございました～

5月25日(土) 11:00～全教事務職員部第34回定期総会を行いました(オンライン併用)。みなさまのご協力により、現地・オンライン合わせて18名の代議員出席で、無事総会成立となりました。本当にありがとうございました。

全国各地の状況を交流し、2024年度の運動方針・スローガンを原案どおり決定するとともに、役員についても選出されました。「教育予算の拡充を！教職員が働きやすい環境を整え、長時間労働の解消を！」と題する特別決議も参加者の総意として決定しました。

また、8月3日・4日に開催予定の「全国学校事務研究集会(やまぐち集会)」について、現地実行委員会より「ぜひ参加してください！」と力強い呼びかけがありました。

### 部長あいさつ

定年延長にかかわって、現職でいろいろな控除も普通にあって7割の給料(一度退職をして、退職金をもらって、本人の意思でしている再任用とは全く違う)。モチベーションを保てるのか、これは何とかしなければならないと切実に思っている。

物価高騰、去年と同じものを購入しても値段が全然違う。年度当初の予算は「昨年並み」であっても、実際に使えるお金は昨年並みではない。厚労省の毎月勤労統計で「実質賃金が24か月連続減」と出ている。現金給与は3年連続プラスになっているが、物価高騰分を差し引きすると24か月連続減。保護者の皆さんは、2年間実質賃金が上がっていない中で子どもを育てていると思うと本当に大変な時代。保護者負担軽減は喫緊の課題である。

私たち学校事務職員は、学校の予算を預かるものとして、保護者の思いと重ねながら、教職員の思いと重ねながらとりくみを進めたい。

## 中央執行委員会あいさつ

能登半島地震のボランティアに全教の役職員を3回派遣した。被害の大きかった地域では未だに復旧が進んでおらず、時間が止まっているようだ。東京産業人懇話会が「防衛」予算と「防災」予算を比較した資料によると、2023年度には、「防災」予算は「防衛」予算の4分の1でいかに「防災」を軽視してきたかがよくわかる。能登半島の復興復旧が進まない一方で、大阪万博の準備が進んでいる。ガス爆発事故が起こるなど危険な万博に子どもたちが動員されている。「大阪万博に子どもを動員するな！」の声を全国から広げるべきだ。

中教審「質の高い教師の確保特別部会」の発表した審議のまとめは、教職員を大幅に増やし、長時間労働を解消してほしいという現場の切実な願いに完全に背を向けている。定数改善による基礎定数増を否定し、加配による定数増を示した。時間外勤務手当を支払わない代わりに教職調整額を支払うとした給特法のしくみには全く手を付けずに長時間勤務手当の支払いを真っ向から否定している。教諭と主幹教諭の間に新たな職を設けようとしており、すでに東京都では、教諭と主幹教諭の間に「主任教諭」という職が設けられている。これにより職場の階層化が進み、上意下達の傾向がひどくなったとのこと。教育現場で何よりも大事にすべき協力・協同が破壊されてしまう。

今日の総会を機に、組合拡大・共済拡大のテンポをさらに加速して、共に頑張ろう。

## 討論（概要）

### ●組織について

・【京都】 各職場に新採が増えているが組合には入っていないので、どう繋ぐかの視点を大切にしている。組合にも入っていない・採用されたばかりで近隣校の事務職員にも相談しにくい人達にある種受けているのが共同実施である。ただし、共同実施だけだと偏りが出てくるので、そこを手当てできる教研は若手に声をかける絶好の機会だと捉え、毎回各支部を通して地道な声掛けを行っている。その甲斐もあって、この1年結構参加があった。京都の教研も徐々に参集で開催することができた。集まると話す中身自体も変わってくる。オンライン事務新歓に若手5名の参加があった。リモートによる敷居の低さを利用しながら今後も声掛けを続けたい。

・【北海道】 事務職員部として声をかけることもあるが、現場で学校づくりを担う一人として、分会のつながりが大切だと思う。外に出る機会も含めて、事務職員に対して声掛けをする難しさを感じている。採用された当時は、職場で組合の存在が当たり前だったが、昨今そういう雰囲気ではない。自分たちの努力が足りない面もあると思うが、頑張っって声をかけていこうと話している。

・【北九州】 組合員が2倍になった。昨年度の全国事務研で「全教北九州事務職員部3年目」というタイトルで報告したが、日教組が強い地域で全教の存在は全く知られていなかった。3年間は種まきのつもりで、全教という組織を知ってもらおうと事務だよりの配布やアンケートを行った。他の組合員からも好意的な感想や「タイミングを見て入りたい。」等反応があった。北九州では、小中学校に正規事務職員と事務補助員（会計年度任用職員）が配置されていて、事務補助員が校納金と就学援助を担当しているが、300人以下の学校には事務補助員が配置されなくなり、一人の負担が増えて病休者が続出するなど大きな問題となっている。自校の経験も含め事務だよりに載せたところ、「自分も同じだ。」との共感の声が寄せられた。とにかく、いろいろとメッセージを発して、全教を知ってもらおうことが大事だと思った。事務だよりは全市に配布している。



・【大阪】 今年度 5 名加入。若年者向けに手当について学習会を行ったが、少しずつ参加希望が増えている。

・【和歌山】 3名の新加入があった。和教組全体でのとりくみというよりは、各支部で特色あるとりくみをしている。支部らしさを生かして、その中で加入に繋がった。近プロ研修会、会場は和歌山なのでみんなで頑張っている。

・【京都高】 事務職員部のことを知ってもらおうと、採用3年目までの人に去年からお便りを出している。近プロ集会や全国集会、交渉の報告などを載せている。今のところ特に反応もないが、今年は6月発送予定。「教職員組合って何？」とか、「共済組合と教職員組合とか『組合』多すぎやけど？」みたいな感じでわかりやすく伝えるよう工夫している。

・【山口高】 毎年拡大があり、この3～4年は9割方加入してくれている。組合で県教委と交渉して勝ち取ったものについてもきっちり話をしている。実際、自分に関係することもたくさんあるのでしっかり伝えたい。なかなか1回で加入してくれることはないが、ちょっとずつ話をしていきたい。

### ●給食無償化について

・【東京】 東京都は給食費の2分の1補助を決めた。全額無償にする自治体には半額補助するが、無償化を実施しない自治体には何もしないということ。自治体間格差がますます広がっていくため、全額補助を実現してもらいたい。国に対しても改めて声を上げていく必要がある。

・【青森】 知事の公約どおり、全自治体が給食無償化になった。

・【大阪】 大阪市は無償化。他の地域でも無償化に向けた動きが進んでいる。



・【和歌山】 コロナの給付金がなくなっても無償化の動きは広がっている。

中には期間限定のところもあるが、無償化が当たり前のこととして根付き始めたと感じる。

・【奈良】 奈良市では、昨年度の2・3学期無償化された。今年度は予算がなくなったため行われず。物価上昇に伴って、給食費も値上げせざるを得ないようだが、値上げをしない形で補助をしている。

### ●共同実施について

・【京都】 ほとんどの自治体で共同学校事務室が設置されている。単に「反対」だけでは止められないので、「共同学校事務室をより良くする」という視点を現場では入れざるを得ない。

・【東京】 拠点校に都費の正規職員が数名（地区によって人数が変わる）、その地域の連携校には、非常勤職員が配置されている。東京には事務職員関係の組合が7つあるが、7組合が「共同実施反対」の一点で共闘して都教委とやり取りしている。7者協で非常勤職員にアンケートを実施したが、過酷な実態が明らかとなった。「副校長が年度当初から休んでいる。その分の仕事もあって毎日夜9時・10時まで仕事をしている。もう辞めたい。」との悲痛な声もあった。実際に年度途中で辞める人も多い。

・【青森】 直接教育事務所に問い合わせるのではなく、共同実施・共同学校事務室長を通して問い合わせるようになった。共同学校事務室を使用した行政の縦系列化を感じる。

・【奈良】 共同学校事務室が全県下で進んできている。今年度より、共同学校事務室がルールに乗るまでは加配をつけるが、ルールに乗った後ではしご外しというか、加配がなくてもやれるように言われている状況。

## ●賃金・労働条件について

・【東京】 任用一本化。「オール都庁体制」で学校事務しか経験していない職員はほとんどいなくなった。必ず知事部局に異動して学校に来るといった交流が多い。新規採用事務職員が70名程いるが、都の総務局から突然「チューター制度」が下ろされた。知事部局では、同じ職場に先輩がいるのでその人がチューターで指導できるが、義務制学校は一人配置なので、他校の事務職員が新採者の指導に行かなければならない。現場の実態にそぐわず、非常に厳しい状態であるため、都教組事務職員部として声を上げていく。

・【北海道】 修学旅行引率旅費について要望書を提出。日程の短縮や場所の変更をしても宿泊限度額を超えてしまうこと、「修学旅行だけは満足に行かせてあげたい。」という保護者の願いを伝えた。道教委からは、「旅行会社に、『どうしても限度額内での宿泊先が取れなかった』との一文を入れた見積書を出してもらえれば検討する。」との文書が出された。要請行動に対応して、道教委が誠意を見せてくれたことで、事実を確認して声を上げる大切さを再確認することができた。子どもたちが安心して通える学校を目指して、引き続き要請行動をしていきたい。

・【青森】 県教委交渉で、臨時職員給与の口座振込を要求し続けていたが、今年ようやく実現した。

・【長崎高】 会計年度任用職員を含め給料が上がったことは良かったが、雇用保険や社会保険にかかる事務に追われた。定額減税もあり、現場の事務負担が増えないよう何とかならなかったものか。時間外勤務手当について、事務長によって考え方が違う（全部出すよう言われたり、ちょっと止められたり）。県教委が事務長に対してどういう指導をしているのか確認したい。

・【和歌山】 高校の事務職員が任用一本化されていたが、2024年度採用から学校事務職員の独自枠が復活した。交渉で言い続けてきた成果が表れた。

・【埼玉高】 生徒引率旅費については全額支給される（ただし、修学旅行は上限がある）。

・【香川高】 & 【大阪高】 修学旅行等の引率旅費は全額支給される。

## ●GIGA 端末について

・【長崎高】 高校は、家に持ち帰る等貸し出している。基本的には、県費で修理するとなっているが、学校によっては、生徒に弁償させるという話もある。きょうだい別の高校に通っている場合等、同じように破損したときに学校で対応が違っていると困る。故障が頻発しており、耐用年数まで持ちこたえられるか心配。



・【埼玉高】 基本的には自己負担で購入。少しでも安く買えるように、県教委が窓口を作って業者を紹介している。学校によって仕様が違うので、金額はバラバラ。特別支援学校は、特別支援教育就学奨励費で対応。事情がある場合には貸し出すとなっているが、有効に活用されているかは疑問。

・【香川高】 自己負担で購入している学校と県で購入している学校がある。修理は、基本的に県費。事故報告書の作成をしなければならず、事務処理は煩雑になる。

・【京都高】 各校個人で購入している。低所得・家計急変等で、申請をして認められた家庭については貸し出しをしている。貸し出しを受けた子どもと普通に買った子どもがわからないように配慮している。

・【山口高】 高校は県が貸し出しをしている。本体の修理は県が直してくれる。電源コード等は学校の予算で交換する。

・【大阪高】 しょっちゅう壊れるが、基本的に公費で修理している。

## ●その他

- ・【和歌山】 「就学援助制度全国調査」について、和教組事務職員部から和教組全体の就学援助調査の継続したとりくみを全国事務研で報告したが、それをきっかけに全教事務職員部からも話があり、すごいなと思った。全国で同じように調査して、「どの地域の子どもにも」広がっていけば良い。事務職員が調査をすることで、修学旅行のキャンセル料等実際にかかっている人でないとわからない細やかな対応ができる。学校徴収金にかかわって、現金の取り扱い・金融機関の統廃合や手数料問題等いろいろな課題があるが、「集金をしないことが一番楽だ。」と言いつけると、だんだん教員も耳を貸してくれるようになってきた。少しでも保護者負担軽減に向けてとりくみたい。
- ・【奈良】 就学援助費について、修学旅行費の上限がなくなった。
- ・【大阪】 万博について、知事から「1回目は大阪府が各市町村を招待。2回目以降は市町村にも負担してもらおう。」と話があった。府教委は、学校単位で参加するようにとのことだったが、市長が「1校も参加しない。」と発言する市があるなど、大阪府としても一枚岩ではなくなっている。事務職員部としても反対運動を進めていく。
- ・【高知】 県教委が不祥事対応に追われている状態。事務職員の不祥事（給食費を持ち帰る等ずさんな処理があった）に関して、共同実施の相互確認で明らかになった。「取り扱い要項を作るべきだ」等言われるが、本人の資質の問題もあると思う。また、当該職員が「校長に怒られるのが嫌だった。」と発言する等職場としても考えるべきことがあるのではないかと。不祥事防止のために共同実施が使われる可能性もある。物価高にかかわって、昨年度予算要求のときに「物価上昇に対応できる予算措置をしてほしい。」と共同学校事務室の名前で市教委に要望書を上げた。今年度配分額が増えたため、「せっかく予算が増えたから、他に何か公費化できないか。」と考えた。保護者負担軽減が進んでおり、今保護者負担になっているのはドリルと図工・理科のセット教材のみ。校長とも相談して、図工の教材を買うことにした。市内他校にも情報共有を行い、「予算が増えた分を保護者負担軽減に使おう！」と呼びかけた。
- ・【大阪高】 修学旅行の行先は北海道で12万。修学旅行に参加できない子どもも増えるのではないかと。所得超過で就学支援金が貰えなかった人に、大阪府が支援補助金を出している。就学支援金を申請して認められない場合自動的に給付してくれたら良いが、申請し直さないといけない。

## 常任委員会の見解

- ・いつにもまして、特に多くの高校組織から発言があって良かった。
- ・組織拡大・強化について、学習会をする。お便りを出す。オンラインも活用しながら、各地でさまざまなとりくみがされている。
- ・高校からは、GIGA 端末関係の話が多かった。同じ日本の高校生でありながら、各県対応がバラバラ。  
基本的には、公費で整備して貸し出す等同じ取り扱いを求めなければならぬ。
- ・物価高への対応予算を保護者負担軽減のために使うという発想はすばらしい。
- ・修学旅行引率旅費、いろいろな違いを見ながらとりくみをすすめたい。
- ・共同実施、ルールに乗るまでは加配をするが、乗ったら止める。ただ人を増やすということではなく、本質はどこにあるのかを見ていかないといけない。



## よろしくお願ひします～2024 年度役員紹介～

部長	奥村 久美子	(京都)
副部長	永島 敦史	(北海道)
副部長	弘田 理嫁	(高知)
事務局長	中橋 貴義	(大阪高)
事務局次長	坂野 大輔	(千葉)
常任委員	江藤 俊	(山口高)
常任委員	木田 敦之	(大阪)
常任委員	田中 成明	(山口高)

### <事務職員部担当>

全教書記次長:平尾 行敏 先生  
(継続)  
書記:相沢 航太 さん(継続)



## 全国学校事務研究集会(やまぐち集会)・・・レポート決定!

現地実行委員会・推進委員会を中心に、みなさまをお迎えするための準備が着々と進められています。おかげさまで、レポートもそろいました(レポーターのみなさま、ありがとうございます！)。分科会、いろいろなお話が聞けそうで楽しみです♪

### 第1分科会 ☆学校事務職員のしごとと役割

- ・高校事務職員のしごとと役割 (山口高)
- ・未配置校支援～沖の島を支援して11年～ (高知)
- ・子どもアンケートを続けて～子どもの声をかたちに～ (島根)

### 第2分科会 ☆教育費無償をめざす学校でのとりくみ

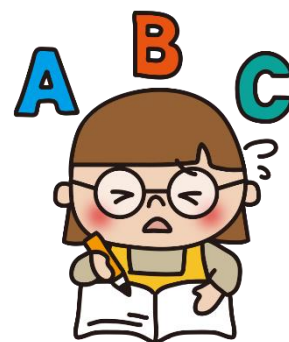
- ・中高一貫校の実情 (山口高)
- ・学校事務の総括と方針 (私的) (北海道)

### 第3分科会 ☆ゆきとどいた教育をめざす地域でのとりくみ

- ・岸和田市における給食費公会計化のとりくみ  
(大阪・岸和田市)
- ・東京都の給食無償化の動向と課題 学校事務職員の役割について (東京)

### 第4分科会 ☆仲間とつながり、安心して働き続けるために

- ・みんなで勝ち取った「公費負担」～舞鶴市における市教委交渉の取組経過～  
(京都・舞鶴市)
- ・堺の「学校事務」のあり方について (大阪)



# 就学援助制度 全国調査活用のお願い

## ～どの地域の子どもにも 等しく「学ぶ権利」を保障するためのとりくみをすすめよう～

定期総会でも提案させていただきましたが、「就学援助制度」の全国調査にとりくんでみませんか？継続して調査を実施されている組織も、まだ実施されていない組織も、調査をきっかけに地域での運動の一步を踏み出したり、他地域の状況を見て学んだり、少しずつ広がれば良いなと思います。今こそ、ゆきとどいた教育をすすめるための教育条件確立をめざしましょう！  
《2024 方針より》

- 貧困と格差の広がりから、子どもたちの学習権を守るとりくみを強める。
- 憲法 25 条・26 条をいかし、すべての子どもたちの学習権を保障するため、国の責任による教育費の無償化実現を求める。
- 教育予算の大幅増額を求め、保護者負担の給食費、通学費、教材・教具費、遠足・修学旅行など校外活動費等の公費化の運動をすすめる。就学援助制度について、全国調査を提案し、各地のとりくみにいかす。

調査書〈Excel〉〈PDF〉は、「全教事務職員部 Google ドライブ」(ページ下段にリンクの URL 記載) に載せてあります。

※調査内容・方法は、各組織で柔軟に対応してください(必ず、この通りやらなければいけないということではありません)。無理のない範囲で、とりくんでいただけると嬉しいです。

調査が終わりましたら、全教事務職員部 ([jimu@educas.jp](mailto:jimu@educas.jp)) までお送りください。

ドライブで共有して、各地域での運動につなげていけたらと思います。

ご協力、よろしくお願いいたします m( )m。



## ～各地のニュース、お送りください！～

全教事務職員部の Google ドライブ ([https://drive.google.com/drive/folders/1s2L-AoatZesjL7WtZRK6LIjVhUokK3vh?usp=drive link](https://drive.google.com/drive/folders/1s2L-AoatZesjL7WtZRK6LIjVhUokK3vh?usp=drive%20link)) を活用して、ニュース等各地の情報交流を行います。ニュース等出されたら、ぜひ、全教事務職員部 ([jimu@educas.jp](mailto:jimu@educas.jp)) ヘメールで送っていただけると嬉しいです (PDF ファイルにしてドライブへおきます)。

各地のニュース、お待ちしております♪